

## ■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白井 博文



### ■ 地上デジタル放送の準備はお済みですか

「電波の有効利用」という国策により、今年の7月24日、テレビ放送が、これまでのアナログ放送からデジタル放送へ完全移行されます。私も詳しい仕組みはよく分からないのですが、デジタル対応に切り替えておかないと、7月24日からはテレビのスイッチを入れても画面が出ないそうです。それを避けるためには、デジタル対応のテレビに買い替えるか、これまでのテレビに「チューナー」という部品を取り付けるか、そのいずれかが必要です。もう一つ。屋根の上のアンテナ工事の場合によっては必要だそうです。7月24日が近づくと、業者も多忙ですぐには応じてもらえず、その結果しばらくテレビが見られないということにもなりかねません。ぜひ、早めにデジタル放送への対応をお勧めします。この度、NHK山口放送局長が来訪され、市民へのさらなる啓発を依頼されました。みなさんどうぞよろしくお願ひします。

### ■ 東日本大震災への支援について (続き)

市民のみなさんのあたたかいご協力により、たくさんの救援物資と、日赤と共同募金会の2つのルートで多くの義援金が集まりました。日赤関係では市長が山陽小野田地区長ですが、自治連の役員と自治会長のみなさんに大変お世話になりました。厚くお礼を申し上げます。一日も早く被災地に届け、被災者のみなさんのお役に立つことができると念じています。

4月17日、保健師1名が仙台市に向けて出発しました。4月18日、東北から第5次水道隊3名が元気に帰ってきました。4月21日から月末まで、行政職職員1名が、宇部市の職員と一緒に、福島県いわき市<sup>なこそ</sup>勿来に出掛けました。支所業務や避難所のお手伝いが目的です。こちらは1名ずつですが、交替でしばらく続きそうです。

### ■ 「見ちゃろう僕たちの学校林」に 同行しました

厚陽小・中学校の校舎が建て替わり、来年4月から一体型の新校舎になることはみなさんご承知のとおりです。新校舎には床や腰板などの内装材に、改修する木造校舎には構造材にもヒノキ（樹齢5,60年もの）を使う予定ですが、その数およそ600本。小学校の25メートルプールに入れると満杯になるほどの量です。4月20日、伐採現場の1つ（大字厚狭字立石地内の市有林）で厚陽小学校5年生の現地見学会がありました。美祢農林事務所やカルスト森林組合のご協力で、森林づくりの話を聞いたり、ヒノキ・杉の伐倒の実演を見せていただいたり、また、丸太の鋸引き体験にも夢中になっていました。願わくば、6年生になって新校舎に引っ越した後も、建材になったヒノキの故郷に思いを馳せてほしいものです。

対話の日

5月26日(木) 14:00 ~  
赤崎公民館